



第9回上田八木・金融政策サーベイ(2017年1月)

発表日：2017年1月27日（金）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2017年1月24～26日
調査先	200先
回答率	95.5%

（Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（1月30日～1月31日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回12月16日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	1	0
不変	99	98	+1
引締	0	1	▲1
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	0	▲1

（Q2）3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月16日)	変化幅
低下	3	2	+1
不変	90	89	+1
上昇	7	9	▲2
短期金利予想DI	+4	+7	▲3

（Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月16日)	変化幅
低下	3	3	0
不変	69	69	0
上昇	28	28	0
2年国債金利予想DI	+25	+25	0

（Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月16日)	変化幅
低下	5	15	▲10
不変	66	54	+12
上昇	29	31	▲2
10年国債金利予想DI	+24	+16	+8

質問（Q5）現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

（ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません）

	(今回)	(前回12月16日)	変化幅
1. 1年未満	5%	7%	▲2%
2. 1年以上3年未満	58%	51%	+7%
3. 3年以上	37%	42%	▲5%